

広報 a public relations magazine

A · G · U · I

あぐい



阿久比町
マスコットキャラクター **アグピー**

9 September
月1日号

暮らしの情報誌

2011

No. 1037

毎月1日・15日発行

主な内容

②～③ 防災への意識改革

全地区一斉避難訓練の様子などを紹介します。いざというときの備えは万全ですか。

④～⑤ 循環バス運行開始に向けて

10月1日に試行運行開始予定の循環バスの特徴、乗り方などを紹介します。

⑥ 阿久比谷虫供養

9月23日に行われる阿久比町の誇る伝統行事。今年は白沢区民館が会場です。

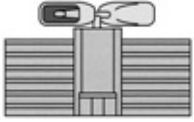
⑫ 幼・保・小・中一貫教育プロジェクト

シンガポールから小学生海外派遣団が無事帰国しました。現地での交流の様子を伝えます。



災害から身を守る

消防体験教室が7月24日、半田消防署阿久比支署職員の指導で行われました。参加者は、災害から身を守るため消火訓練、ロープ訓練などに取り組みました。9月1日は「防災の日」です。3月11日の大地震から半年が過ぎようとしています。災害への備えは大丈夫ですか。



行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は
☎(48)7030 で確認してください。最新の
メッセージを聞くことができます。

阿久比町全地区一斉 避難訓練を実施

防災への意識改革

165

安全
で
住
み
よ
い
ま
ち
づ
く
り

ニュース

防災交通課
☎(48)1111
(内208)



町内全地区一斉避難訓練として、
八月二十一日(日)に防災訓練を行
いました。昨年までと違い、東日本
大震災を教訓に「まず逃げるこ
事を考えた訓練を実施し、五千二百人
以上が参加しました。

訓練は、東海・東南海・南海地震
が連動して発生し、家屋の全半壊や
火災の発生、津波による阿久比川の
一部決壊、地震による土砂災害が起
こり町内各地で被害が生じた想定。
また、役場庁舎が地震で崩壊した想
定で、町の災害対策本部をオアシス
センターに設置しました。

午前七時に防災行政無線で訓練開
始を放送。各地区の住民の皆さんは、
一次避難場所へ移動しました。避難
場所では、避難人数、安否、要援護
者の確認などを行い、併せて、避難
経路や避難場所の検証を行いました。
一次避難場所から行政協力員がい

る地区災害対策本部に各避難所の状
況を報告しました。その報告を取り
まとめた地区全体の状況を役場職員
が行政協力員に聞き取り調査。役場
職員は、災害のため車が使えない想
定のもと、町の災害対策本部から自
転車やバイクで地区災害対策本部ま
で移動し、携帯無線機を使用して町
の災害対策本部に報告しました。

町の災害対策本部を設置したオア
シスセンターでは、職員地震災害初
動対応マニュアルを使用した東海地
震の発災後の初動訓練を行いました
。消防団や半田消防署阿久比支署
は、町内を巡回し、避難の案内放送



を行いました。

今回の訓練では、地区の広さ、人
数などの違いで、一次避難場所を設
けないなどの地区による違いがあり
ました。この訓練の反省から、今後
地区で避難場所、避難方法などの見
直しが進むと思われます。

災害は、いつ起こるかわかりませ
ん。皆さんも積極的に自分が住んで
いる地区の自主防災会に参加するな
どとして、防災意識を高め、いざこ
うときのために備えてください。

少年消防クラブ 消防学校二日入校

愛知県消防学校（尾張旭市）で七月二十六日、少年消防クラブ（BFC）愛知県消防学校一日入校が行われ、阿久比町から十五人のクラブ員が参加しました。

BFCは、少年期から火災予防についての知識を身に付け、火遊びなどの危険な行為を防止して、各家庭や学校での火災の防止を図るとともに、火災予防思想の素地を築くこと



を目的として発足されました。全国レベルの組織団体であり、阿久比町でも、町内の四小学校すべてにあり

ます。「二日入校」は、消防についての関心を深め、防火意識の高揚とクラブ員の相互の親睦を図ることを目的に毎年実施されています。

クラブ員が体験した種目は、地震体験、煙道体験、規律体験、着衣着火の消火方法、放水体験、消防車試乗などです。

今春、県下（名古屋市を除く。）の消防署に採用となった新人署員による熱心な指導で、子どもたちは火災予防について学びました。

「防災リーダー養成講座及び災害ボランティアコーディネーター養成講座」を開催

三月に発生した東日本大震災は、被災地に甚大な被害をもたらしました。阿久比町でも、東海・東南海・南海の三連動地震が発生した場合、大きな被害が懸念されます。

いざというときの地域防災の実践的なリーダーとして、災害に対する正しい知識や防災活動の技術を身に付けてみませんか。

東浦町と合同で開催します。

□日時 九月二十五日、十月二十三日、十一月二十七日、十二月一日、平成二十四年一月十五日の各日曜日（全五回）

午前十時～午後四時（昼食は各自持参）

□場所 阿久比町勤労福祉センター（エスベランス丸山）

□内容 家具転倒防止演習、災害図上演習、避難所運営演習、ボランティア・被災者体験報告、自主防災会活性化演習、災害救援ボランティアアセンター演習など

※ 変更の場合有り

□定員 十人程度（先着順）

□講師 名古屋大学大学院教授 飛田潤氏ほか

□受講料 無料

□申込期限 九月二十日（火）

□申し込み・問い合わせ先

防災交通課 ☎（48）11111（内208）

阿久比川と十ヶ川の水位が 自宅から確認できます

「川の防災情報」は
阿久比町ホームページから
アクセスできます

<http://www.kasen-owari.jp/>

愛知県

川の防災情報

- お知らせ 愛知県からのお知らせを別ウィンドウで表示します。
- 用語説明 川の防災情報で使用する用語を別ウィンドウで説明します。
- 阿久比川のトップページ 川の防災情報ホームページへ遷移します。

気象庁ホームページ

「レーダー・降水ナウキャスト」

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

阿久比町循環バスが運行を開始します

10月1日(土) 試行運行開始予定

生活の足を確保するために、地域公共交通として町内を循環するバスの運行を要望する声が増えています。この状況に対応するため、平成22年4月に阿久比町循環バス検討委員会を立ち上げ、広く皆さんから意見をいただきながら循環バスについて、検討し、その結果、10月1日から循環バスの試行運行を開始する予定となりました。

今回は、循環バスの特徴と乗り方などについて紹介します。循環バスのルート、ダイヤについては、全戸配布のバスマップをご覧ください。

〈阿久比町循環バスの車両とバス停留所〉



ブルーライン



オレンジライン



バス停留所

〈阿久比町循環バスの特徴〉

- ◎ 阿久比駅前を中心に、
ブルーライン（高根台、板山、宮津団地方面～阿久比駅前～南部方面）と
オレンジライン（草木、白沢、スポーツ村方面～阿久比駅前～東部方面）の
2台のバスが運行します。
- ◎ 阿久比駅前では、2台のバスを相互に乗り継ぐことができます。
- ◎ 住民アンケートの結果から、一部の店舗や医療機関へも循環バスの乗り入れを行います。

〈阿久比町循環バスの乗り方〉

- 1 バス停留所のバスから見やすい場所でお待ちいただき、バスが接近したら軽く手を挙げて合図してください。（停留所に人がいないとバスは通過することがあります。）

バスは、道路事情などにより、遅れてくる場合があります。



- 2 バスが到着したら、足元の段差に気をつけて、ご乗車いただき、座席にお座りください。満席の場合はご乗車をお断りします。シニアカー、ベビーカーで折り畳みのできるものについては、持ち込むことができます。



- 3 目的地の停留所名を告げるアナウンスがあったら、降車ボタンを押してください。バスが止まってから席をお立ちください。足元の段差に気を付けて、バスをお降りください。



乗降口



降車ボタン

バスは、時刻表どおりに運行できないことがあります。
電車や他のバスに乗り継ぎができなくても、その責任を負うことはできませんのでご了承ください。

〈停留所では、次のことを心がけましょう〉

- ◎ 停留所でバスを待つときは、車道や車の進入路から離れた安全な場所でお待ちください。
- ◎ 停留所でバスを待つときは、近隣の皆さんのご迷惑にならないよう騒いだり、ごみを捨てたりしないよう気をつけてください。
- ◎ 停留所付近に自転車などを置いたままにしないでください。

停留所は、近隣の皆さんのご理解とご協力のもと設置しております。
近隣の皆さんの迷惑とならないようご配慮ください。

☎問い合わせ先 防災交通課 ☎(48)1111 (内277)

**10月1日(予定)から、阿久比駅前ロータリーに循環バスが発着します。
バス停留所における駐停車は、ご遠慮ください。**

【循環バスの阿久比駅前ロータリー乗り入れ時間】

8:48～ 9:00	12:55～13:00	16:30～16:40
9:20～ 9:30	13:20～13:30	17:28～17:50
10:18～10:30	14:20～14:30	18:10～18:30
10:50～11:00	14:50～15:10	* 2台のバスが同時に 駅前ロータリーを発 着します。
11:48～11:55	16:00～16:10	

【循環バス停留所設置場所】(イメージ)



誇りある伝統行事 阿久比谷虫供養

知多の虫供養行事（愛知県指定無形民俗文化財）
今年**は白沢地区**で開催されます

日時

9月23日(金・祝)
午前8時～午後4時

場所

白沢区民館

阿久比谷虫供養スケジュール

午前8時	開始
午後0時30分	囃子奉納
午後1時	百万遍念仏開始
午後3時10分	囃子奉納
午後4時	終了



虫供養は米作りや野菜作りで犠牲になった田畑の虫を供養するために念仏を行ったことが始まりとされ、融通念仏の始祖 りょうにんしょうにん 良忍上人（1072～1132）により広められ平安時代終わりごろから阿久比でも行われるようになった民俗信仰行事です。

現在 阿久比谷虫供養は町内13地区の持ち回りで当番を受け持ち、当番地区では前年の虫供養で引き継ぎを受けてから寒干しや土用干しなど、数々の行事を1年かけて行い、虫供養当日を迎えます。

行事当日は導師の先導で同行衆による念仏が唱和され、道場や小屋にはそれぞれ掛け軸がまつられます。また、会場内に建てられた大塔婆おおとうばの下の砂山を幼児に踏ませると「かんの虫封じ」になると伝えられています。

永い歴史があり、戦乱に巻き込まれ中断もありましたが、根強くよみがえった虫供養は、まさしく町の誇る伝統行事です。会場に足を運びご覧ください。

オアシススケッチ

～まちの話題～

●「虫供養」本番を前に土用干し



白沢区民館で行われた土用干し

虫供養の行事の一環として行われる「土用干し」が7月31日、白沢区民館でありました。

土用干しは、掛け軸や道具などを飾り、夏の風に当て、カビや虫の害から守り、痛みを防ぐとともに、供養の行事にもなっています。町指定文化財の12幅の掛け軸などが並ぶ会場には、先導する導師の声や同行衆の唱和する百万遍念仏が響いていました。

土用干しと冬に行われる「寒干し」は、9月の秋分の日にある本番に向けて、当番地区で毎年行われる大切な行事です。

●矢勝川堤防に球根植栽



球根を植える参加者

矢勝川沿いにヒガンバナを増やそうと7月24日、親子連れなど67人が参加し、6,000個の球根を植えました。

矢勝川周辺の美化に関心を持ってもらうため、ボランティア団体「矢勝川の環境を守る阿久比地区会」が主催し、愛知県の「あいち森と緑づくり環境活動交付金」事業として実施しました。

この堤防は、阿久比中学校の生徒も春に球根を植えています。新美南吉の童話『ごんぎつね』に登場する矢勝川が赤い花で染まるように参加者は作業しました。



八月八日(月)
アサガオの花が咲きました。
色鮮やかな花が十個ほど確認できました。
涼しげなアサガオを眺めて、まだまだ続きそうな暑い日を楽しみ切りたいと思います。

「緑のカーテン」栽培に挑戦 (第六回)



八月十二日(金)

一緒に寄せ植えしたケナフが一メートルほどの高さで成長し、白い花を咲かせました。

ケナフの起源は古く、原産地はアフリカといわれています。ケナフは、育つのが早く、二酸化炭素を多く吸収します。しかも、木材パルプの代替資源として注目を浴びています。

□問い合わせ先 環境衛生課
(48)1111 (内310)

～まちの話題～

● 県大会出場を報告



県大会に出場する阿久比中学校の生徒たち

部活動で県大会へ出場する阿久比中学校の生徒たちによる報告会が7月28日、中央公民館でありました。

県大会へ出場を決めたのは、水泳、柔道、体操、新体操、野球、陸上、男子パドミントン、女子パドミントン、吹奏楽の部活動から個人、団体の種目、競技になります。

「日ごろの練習の成果を発揮して、阿久比町の名前を広めてきてください」と町長が大会に出場する部員を激励しました。生徒たちは「代表として精いっぱい力を出し切ります」と元気よく誓っていました。

● 全日本で飛躍を期する



全日本ジュニア体操競技選手権大会に出場の青木君(中)

2011全日本ジュニア体操競技選手権大会（8月12日、13日横浜市で開催）に出場する阿久比中学校1年生の青木翔汰君が8月9日、町長室を訪れました。

この日は、西日本ジュニアの大会で獲得した平行棒の賞状を持ってきてくれました。

小学校5年生のときに全日本の大会に出場していますが、今回は前回よりレベルの高いAクラス決勝大会に出場します。町長の激励に対し青木君は「大会では、個人総合で1桁順位を目指します」と力強く目標を語っていました。

中学生・高校生による
職場体験・ボランティア活動



学校の夏休み期間に、阿久比中学校の生徒が職場体験で、阿久比高校の生徒がボランティア活動で町内の各保育園を訪れました。

生徒たちは、おもちゃで一緒に遊んだり、絵本を読んであげたりしました。晴れて暑い日には、園庭で園児たちと一緒に水遊びをして楽しみました。

また、町営プールでは、もちの木園生の水泳訓練が阿久比高校水泳部員の指導のもと行われました。

もちの木園では毎年、体力維持と水に対する恐怖心をなくすことを目的に訓練を行い、水泳部員などがボランティアで手伝いをしています。

水泳部の市野文隆キャプテンは「今年もまたみんなと楽しく交流ができました」と笑顔で話していました。



オアシススケッチ

● みんなで輪になり盆踊りの夕べ



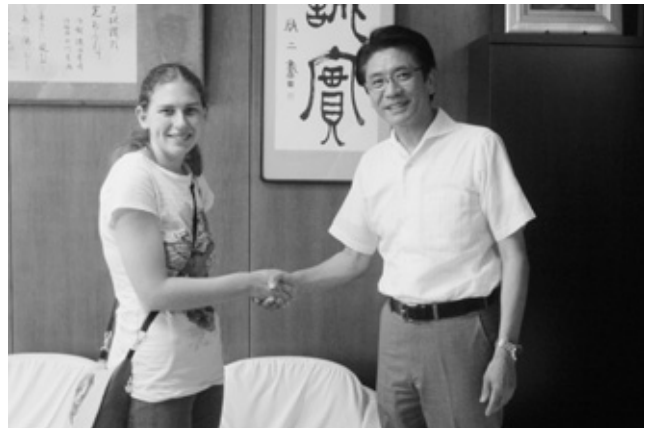
やぐらを囲み踊る参加者

役場前駐車場で8月16日、町文化協会主催「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」が開かれ、約2,500人が盆踊りや模擬店を楽しみました。

浴衣姿の老若男女がやぐらを囲み、阿久比音頭、オアシス音頭などを踊りました。時間が経つにつれ踊りの輪が広がり、配られたうちわを持ち今年の踊り納めをしました。うちわには、東日本大震災の被災地を激励する言葉が書き込まれていました。

また、光絃一座による津軽三味線アトラクションも会場を盛り上げていました。

● 文化に触れるための来日



留学生のアマンダさん

阿久比ライオンズクラブの交換留学生のアマンダ・グラウインさんが8月5日、町長を表敬訪問しました。

アマンダさんは、米国の中西部に位置するウィスコンシン州に住んでいる20歳の大学生。8月5日～14日に町内のホストファミリー宅に滞在しました。

日本の文化についてもっと学びたいと思い、日本にやってきたアマンダさん。ただ、今はまだ日本語を話すのがあまり得意ではないため、日本語の勉強をして上達したいそうです。

川の生きものを通して自然環境を考える



EM活性液を川に流し入れる参加者



大物が捕れました

阿久比町商工会青年部主催の自然観察会が7月30日、殿越川沿いにある親水公園で行われました。

参加者は親子連れなど70人。子どもたちは川に入り、網を使って魚や貝を捕まえました。

南知多ビーチランドで飼育担当の榊原圭志さんが講師となり、捕まえた生きものについて解説をしました。その後「あぐいくらしの会」と協力して、水質浄化に有用とされる微生物を含んだEM活性液100リットルを川に流し入れました。

8月7日には、約120人の親子らが参加して川の生きものを探すイベントが草木川でありました。

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るために組織された「草木みどりサミット」の主催で、土のうでせき止め、水をポンプでくみ上げて浅くなった川で子どもたちは、40センチメートルを超えるコイやフナ、イシガメ、テナガエビ、ドジョウなどを捕獲しました。

参加者は、楽しみながら身近な川からとても多くの種類の生きものを発見していました。

Good Life はあなたのチャレンジ精神で!

平成23年度第三期

生きがい教室・講座開講

「いつでも、どこでも、だれでも」を目標に町民の皆さんの生涯学習を支援する教室・講座を開講します。
年四回皆さんにお知らせします。今回はその第二回目です。
気軽にご応募ください。

スクラップブックキング教室

- ◆日にち 十月五日(水)、十九日(水)
- ◆時間 午前十時～正午
- ◆会場 中央公民館
- ◆対象 一般
- ◆定員 二十人
- ◆受講料など 千二百円程度
- ◆内容 写真をペーパーやステッカーでかわいくデコレーションしてオリジナルアルバムを作ります。サンプルが公民館窓口にありますのでご覧ください。

年賀状を作ろう

- ◆日にち 十一月二十五日(金)、二十一日(水)
- ◆講師 クリエイティブメモリーズ ジャパン公認インストラクター 奥田華容

狂俳教室

- ◆日にち 十月五日(水)、十二日(水)、十九日(水)、二十六日(水)、十一月六日(日)
- ◆時間 午前十時～正午(十月二十四日は午前九時～午後四時)
- ◆会場 中央公民館ほか
- ◆講師 近藤恵子
- ◆対象 一般
- ◆定員 三十人
- ◆受講料など 千円程度
- ◆内容 ワードで干支の絵を取り入れながら、楽しく年賀状を作ります。(文字入力のできる方が対象です。)

吟詠会

- ◆対象 一般
- ◆定員 二十人
- ◆受講料など 無料(吟行時の入場料、昼食代などは実費負担)
- ◆内容 狂俳の基礎を学びます。十月二十六日にはバスに乗って吟行に出かけ、十一月には文化祭の句会にも参加します。
- ◆講師 文化協会 狂俳英比会
- ◆日にち 十一月二十七日(日)、十二月三日(土)、十一日(日)、十八日(日)
- ◆時間 午後一時半～午後三時半
- ◆会場 中央公民館
- ◆対象 一般
- ◆定員 二十人
- ◆受講料など 無料
- ◆内容 「富士山」「不識庵機山撃の図に題す」から始め、吟のレベルアップを目指します。初心者の方大歓迎です。
- ◆講師 文化協会 詩吟興道館知多支部

今、話題の健康法!「笑いヨガ」

- ◆日にち 十一月十日(木)、十七日(木)、二十四日(木)、十二月一日(木)、八日(木)
- ◆時間 午後一時半～午後三時
- ◆会場 中央公民館
- ◆対象 一般
- ◆定員 二十人

押し花教室

- ◆受講料など 千五百円程度
- ◆内容 「笑いヨガ」とは、インド医師の考案による笑うことで心と体にさまざまな良い影響を与える健康法です。みんないっしょに笑いましょう。
- ◆講師 中部ラフターヨガリーダー 水野良美
- ◆日にち 十月七日(金)、二十一日(金)、十一月十一日(金)、十二月二日(金)、十六日(金)
- ◆時間 午後一時半～午後三時半
- ◆会場 中央公民館
- ◆対象 一般
- ◆定員 十五人
- ◆受講料など 五千二百円程度
- ◆内容 花の押し方から始め、オリジナルフレームや花絵額などを毎回すてきな作品を作ります。
- ◆講師 竹内邦子

カラーコーディネイト講座

- ◆日にち 十一月九日(水)、二十三日(水)、十二月十四日(水)、平成二十四年一月十一日(水)、二十五日(水)、二月八日(水)
- ◆時間 午後二時～午後三時半
- ◆会場 中央公民館
- ◆対象 一般

生きがい教室・講座

◆講師

半田養護学校 角谷悟、英
保育園園長（愛知県発達障
害支援指導者）林範子、N
PO法人チャレンジド、阿
久比中学校校長 上元謙二
ほか

◆内容

特に支援が必要な子どもの
育ちや学びに関連する話を
さまざまな分野で活躍され
ている講師の方からお聞き
します。阿久比中学校授業
参観も行います。

◆受講料など 無料

◆定員 二十人

◆対象 一般

◆会場 中央公民館ほか

◆時間

午前十時～正午

◆日にち 九月三十日(金)、十月十 四日(金)、十一月十一日 (金)、十二月九日(金)、平 成二十四年一月十三日(金)

◆講師

平野よう子

◆受講料など

五千円程度

◆定員 二十人

色使いや配色を学んで、装
いや生活空間をセンスアッ
プしましょう。

特に支援が必要な子どもの育ち
や学びのために

- 申込資格 町内在住・在勤・在学している方
- 申込期限 9月15日(木)
- 申込方法 電話(平日午前9時～午後5時)、FAX、電子メール、公民館窓口で申し込んでください。
- ※ 定員を越えた場合は初めての方を優先し、抽選により決定します。申し込みが10人未満の場合や講師の都合により変更などもありますのでご了承ください。
- 問い合わせ先 社会教育課公民館係 ☎(48)1111(内260) FAX(48)6229
電子メール shakyo@town.agui.lg.jp



「おこと教室」



日にち 8月3日～29日(全4回)

場所 中央公民館

「さくら」など日本の歌を弾きながら琴の基礎を学ぶ、文化協会の箏曲中山会による入門講座です。

受講生は、弾き方ひとつで変化する曲調と美しい音色に触れ、琴の魅力に心ひかれているようでした。

「夏休み子ども教室」



日にち 7月29日～8月4日(全3回)

場所 干潟(美浜町)、牛舎(植大)、中央公民館ほか
町内の小学生を対象に、自然観察をはじめさまざまな体験をする夏休み子ども教室を開講しました。

3日間という短い期間でしたが子どもたちは、干潟で貝や蟹、小魚などをとったり、竹内悟司さん(植大)の牛舎で乳しぼりをしたりとたくさんの貴重な体験をすることができました。

小学生海外派遣事業 派遣児童15人無事帰国

7月26日(火)にセントレアを出発した小学生海外派遣団が、7月31日(日)に無事帰国しました。派遣団は、町内の小学6年生15人で、阿久比町の代表としてシンガポールのフェンシャン小学校との交流を深め、外国を見聞してきました。

フェンシャン小学校とは平成20年度から派遣を通じた交流を始めました。昨年度はフェンシャン小学校の児童を5月に迎える双方の交流を行いました。今年度は東日本大震災の影響で、先方の申し出により受入事業は、残念ながら中止となりました。そのため、今回の訪問は、今後の交流継続の鍵を握る大切な行事でした。



〈フェンシャン小学校での盛大な歓迎〉



〈シンガポールの授業体験〉

子どもたちは、学校で授業を受けたり、シンガポールの家庭にホームステイをしたりして、海外で異文化の体験と交流をしてきました。言葉の壁に戸惑ったこともあったようですが、町の代表として積極的に交流する姿が印象的でした。短期間の交流でしたが、中身は濃厚であったため、別れの時は思わず涙がこぼれてしまいました。

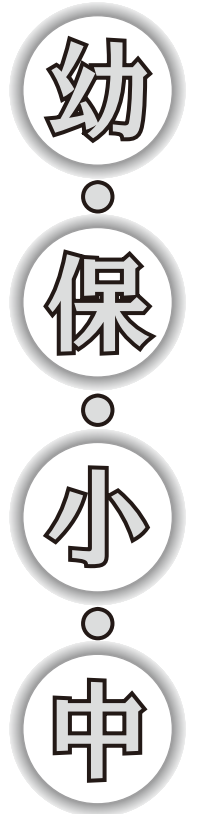


〈いよいよお別れ〉

帰国した児童は、2学期が始まると、各学校でシンガポールの様子や交流の内容を友達に伝え、国際理解教育の一役を担っていくこととなります。海外家庭生活体験事業でカナダに派遣された中学生とともに、9月22日には、報告会を行います。海外で異文化体験をした児童・生徒が、国際感覚豊かな大人となり、阿久比町をリードしていくことを強く願っています。

全国へ発信 96

一貫教育プロジェクト



今回の海外派遣の様子は、現地からブログにアップされています。各小学校または学校教育課のホームページからご覧いただけます。携帯電話でご覧になる方は、<http://blog.goo.ne.jp/eibi2011/> または下のQRコードを利用してください。



平成23年度
阿久比町海外派遣事業

地域の方との触れ合いを通して ～週末子ども教室～

8月6日(土)英比小学校で、地域の方を講師に招いて「週末子ども教室」を行いました。教えていただいたのは、缶けり・リム回し・ナンバーの外遊びと将棋など昔からある遊びです。この教室は、地域の方との交流だけでなく、仲間と遊ぶ楽しさ、触れ合うよさを子どもたちに体験させることを狙いとしています。第1回目の今回は、22人の児童が参加しました。

町では、学校支援地域本部事業を進めています。これは地域全体で子どもたちを育てよう、町全体を学舎(まなびや)にしようという願いのもと取り組んでいる事業です。英比小学校は、その試行校としてさまざまな取組にチャレンジしています。以前紹介した学生の学習支援ボランティアも、この事業の一つです。

始まったばかりの地域の方との触れ合いですが、少しずつ参加人数が増えていくことを願っています。



〈リム回し〉

みんなの童話

おじいさんのロッキングチェア



「もういいから」

「まあただよー」

きょうも、けんちゃんの家のは、友達の元気な声でにぎやかだった。

「もういいよー」けんちゃんは全速力で、うらの物置小屋の前まで走っていった。

すると、きいたことのある歌が中からかすかにきこえた気がした。そっと戸をあけた。日の光が小屋の中にさしこんだ。

（あ、おじいさんのロッキングチェアだ）

この春、亡くなったおじいさんのいすが目にはいった。

（こんなところにはまわられていたんだ）

「そいで近よると、いすにははずみがないねむってした。」

「このいす、ぼくのおじいさんのだぞ」

すると、ねずみの母さんがとび出してきて

「いめんささ、この子たちにひるねをさせていたのです」

「ぼくのおじいさんのいすだよ」

「はい、わかっています」

ねずみの母さんは、赤ちゃんねずみをいすからおろした。

けんちゃんは、ロッキングチェアの背もたれや、ひじかけを、やさしくさすった。

おじいさんとあそんだ日のことが、いつぱいつかんできた。

「あ、ぼくがかじったきずだ」

「あのー こっちのきずは、私の子ねずみがかじったものです。ごめんね。でも、いすの足のここのひびわれは・・・」

「それはね、それはね」

けんちゃんにはげしくいった。

「ぼくが、ぼくがこわしたんだ」

去年の秋、けんちゃんと兄ちゃんは、おじいさんのロッキングチェアのとりあいでけんかになった。

「じゃんけんしてしまつたよ」

と、いう兄ちゃんをつきたおし、ロッキングチェアを両手で抱ききりたおした。

そのとたん、ロッキングチェアは、えんがわからふみ石にあたって庭に落ちた。

いすの足は大きくひびわれてしまった。

兄ちゃんの頭にもこぶができた。

「わしも子どもころは、ようおこったり、けんかもしたなあ。だけど人をきずつけたり、らんぼうはいかんぞ、なあけんちゃん！

兄ちゃんにあやまったか、仲よしせんとな」

おじいさんの言葉を、けんちゃんは決してわすれてはいなかった。

そして、やさしく肩をだいてくれたことも。

「ねえ、どうしてぼくのことを知ってるの？」

すると、ねずみの母さんは、

「私は、母屋の天井うらに住んでいました。だからけんちゃんやお兄ちゃんのことも知っています。」

おじいさんのやさしい子守歌もおぼえました。ロッキングチェアが物置小屋にしまわれたのを知ってここに移ってきたのです。

このいすは、私にとっても、おじいさんへの思い出のつまったものです」

（みんな、おじいさんが好きだったんだ）

けんちゃんは、ひびのはいったいすの足を気づかいながら、目をとじて、やさしくゆらゆらしてみた。

「さっきはごめんね。つぎに赤ちゃんねずみにかわってあげるよ」

「まあーありがとう。ありがとう」

ねずみの母さんは、お礼をいいおじいさんの作った子守歌を歌いはじめた。

ねむれねむれ いとし子よ

ねむれねむれ すこやかに

ねむれねむれ ゆめのくに

いつのまにか子守歌は、おじいさんの声にかわっていた。

けんちゃんはおじいさんにだけ、胸に顔をうずめてゆれていた。

「けんちゃん、けんちゃん」

遠くでさけんでいる声があった。

（そうだ、ぼくかくれんぼしてたんだ。おじいさんのいすでねむってしまったんだ）

けんちゃんは、あわててとび出した。

「みんな、ごめんね、ぼくのこと心配してくれて。またあしたあそぼうね」

友達の手をかり帰っていった。

けんちゃんは物置小屋へ走った。

そして、戸を開けた。ロッキングチェアは、夕ぐれの中で、ほんやりとしか見えなかった。

しりやま会員 やのかづい

幼稚園ウィーク 園を公開します 『幼稚園へ遊びに行こう』

ほくぶ幼稚園では、一人一人の個性を大切にしながら、友達や周りの人と接する中で、思いやりの心を育てています。園を公開する「幼稚園ウィーク」に、子どもたちの生活や遊びを見てください。



☆ 幼稚園ウィーク

9月20日(火)～22日(木)

午前9時30分～正午

☆ 幼稚園説明会

9月21日(水) 午前9時30分～

自由見学 午前9時30分～

説明会 午前11時～午前11時20分

※ 駐車場は阿久比スポーツ村第2駐車場を利用してください。

□問い合わせ先

町立ほくぶ幼稚園 ☎(48)5605

板山高根湿地「自然観察会」参加者を募集

～ 絶滅危惧Ⅱ類！シラタマホシクサを観察しよう！ ～

阿久比町にある板山高根湿地は、珍しい昆虫や植物が生息・生育し、知多半島でも貴重な自然環境が残っています。

普段は一般公開を行っていませんが、講座板山高根湿地「自然観察会」を開催し、限定的な公開を実施します。

各回、専門の先生によるわかりやすい解説付きです。どなたでも楽しんでいただけます。この機会に湿地での自然観察会にご参加ください。

□日程 第3回 9月26日(月) 午前9時～正午

第4回 9月27日(火) 午前9時～正午

□集合場所 各回とも中央公民館103号室(マイクロバスで現地まで移動します。)

□対象者 興味のある方

□定員 各回25人(定員を超える場合は、抽選)

□参加費 200円(つり銭の無いようにお願いします。)

□申込期限 9月15日(木)

□申し込み・問い合わせ先 社会教育課社会教育係 ☎(48)1111(内262)

FAX(48)6229 電子メール shakyo@town.agui.lg.jp

※ 氏名、住所、電話番号、参加希望日をお知らせください。電子メールで申し込まれる場合は、件名に「自然観察会」と入れてください。

電話での申込みは平日の午前9時～午後5時。

後日、案内を送付させていただきます。



シラタマホシクサ

9月9日は、救急の日 救急医療週間 9月4日(日)～9月10日(土)

『あなたにも守れます尊い命』

◎ 覚えよう応急手当

もしもあなたの側で愛する人が倒れたら、あなたはどうしますか？

そんな時、あなたは何もせず救急車の到着を待つだけですか？

応急手当を知っていれば、大切な人を救うことができるかもしれません。現場に居合わせた“あなた”が勇気を持って応急手当を実施することが非常に重要です。

尊い命を救うには“あなたの愛と勇気ある行動”が必要です。

知多中部広域事務組合消防本部では、定期的に「救命講習」を開催しています。皆さんの参加をお待ちしています。

問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部
半田消防署阿久比支署 ☎(47)0119

◎ 普通救命講習を開催

救命のための応急手当やAED（自動体外式除細動器）の使い方の講習を行います。

日時・場所・定員

10月9日(日) 午前9時～正午・半田消防署東浦支署・定員20人（先着順）

10月20日(木) 午後1時30分～午後4時30分・半田消防署・定員30人（先着順）

申し込み・問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部

東浦支署 ☎0562(83)0119

半田消防署 ☎(21)1492

HP <http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>

「かかりつけ医」を決めていますか

◎ 地域の救急医療体制の維持が厳しくなっています

救急病院は、緊急性の高い重傷者や重症患者の受け入れを担当していますが、軽い症状の方が多く受診することで、重症患者などをすぐに受け入れできないことがあります。

夜間や休日の救急病院は、診療時間とは異なり、少人数の勤務医が当直しているのみです。そこに多くの患者さんが来れば、勤務医の負担が増えます。

そこで、

1 「かかりつけ医」をもちましょう

日ごろから最寄りの開業医の先生を「かかりつけ医」とし、自分自身や家族の健康、病気のことを相談しましょう。緊急時には連絡が取れ、適切な医療機関に紹介状を書いていただける備えをしておきましょう。

2 早めに、定期的を受診しましょう

病気は、軽い症状を我慢しているうち、急に重症化することも多くあります。早めに「かかりつけ医」に受診すれば、十分な検査や治療が受けられ、医療費も結果的に安く済みます。

◎ 小児の病気で医療機関を受診するか迷ったら

けいれんが止まらない、意識がない、呼吸が苦しいなど明らかに緊急を要する急病の場合は、迷わずに「119番」をご利用ください。

子どもの誤飲事故が起こった時は

中毒110番電話サービス（財団法人日本中毒情報センター）

一般市民専用電話（情報提供料は無料） ☎（大阪）072(727)2499（365日・24時間）

（つくば）029(852)9999（365日・午前9時～午後9時）

（タバコ専用）072(726)9922（365日・24時間・テープによる情報提供）

夜間の急病時、病院に行ったほうが良いかどうか判断に迷った時は

小児救急電話相談 看護師（難しい事例は小児科医）による救急電話相談

土曜日、日曜日、祝日、年末年始の午後7時～午後11時 ☎#8000（短縮番号） 052(263)9909

「こどもの救急」（社団法人日本小児科学会）HP <http://kodomo-qq.jp/> 対象年齢 生後1カ月～6歳

愛知県小児科医会 HP <http://aichi-pediatric-ass.jp/>

問い合わせ先 環境衛生課 ☎(48)1111（内311・312）

お知らせ

臨時(パート)職員を募集

- 募集人員 三人
- 勤務内容 小中学校給食調理業務など
- 勤務場所 学校給食センター
- 勤務時間 学校休校日以外の午前八時半～午後四時(一日六・五時間程度)
- 勤務開始日 十月三日

第5次阿久比町総合計画における「参画・協働の行動指針」

基本計画第2章・第4節 消防・防災

- 災害の発生に備え、防災訓練や人命救助のため救命講習会等に参加しましょう。
- 自主防災会活動に参加しましょう。
- 災害時要援護者登録率を向上させ、火災や救急時に高齢者や障がい者などの連絡、救助に協力しましょう。
- 消防団員確保に協力しましょう。

- 賃金 八百二十円(時間給)
- 交通費月額二千円(自宅から勤務地まで二キロメートル以上の場合)
- 応募資格 阿久比町在住で、年齢五十歳(平成二十三年四月一日現在)までの健康な方
- 試験 面接試験(後日連絡)
- 提出書類 履歴書(市販のもの・写真添付)、健康診断書(後日提出可)
- 申込期限 九月二十二日(木)
- 申し込み・問い合わせ先 学校給食センター ☎(48)51111

- 募集人員 一人
- 勤務内容 幼稚園、保育園、小中学校への給食配送業務など
- 勤務場所 学校給食センター
- 勤務時間 学校休校日以外の午前十時～午後三時(一日四時間程度)
- 勤務開始日 十月三日
- 賃金 千五百円(時間給)
- 交通費月額二千円(自宅から勤務地まで二キロメートル以上の場合)
- 応募資格 阿久比町在住で、年齢六十三歳(平成二十三年四月一日現在)までの健康で三トンを運転できる方
- 試験 面接試験(後日連絡)
- 提出書類 履歴書(市販のもの・写真添付)、健康診断書(後日提出可)
- 申込期限 九月二十二日(木)
- 申し込み・問い合わせ先 学校給食センター ☎(48)51111



阿久比町安全なまちづくり防犯キャンペーンを実施しました

夏の安全なまちづくり県民運動(八月一日～八月十日)期間中の八月五日(金)、名鉄阿久比駅前ロータリーで防犯キャンペーンを行いました。

半田警察署署員、知多県民センター職員、役場職員が、駅の駐輪場や商業施設の駐輪場において自転車の盗難が多いため「自転車から離れるときは鍵を必ず掛けましょう」と呼び掛け、高校生を中心にワイヤロック、ポケットティッシュなどの啓発物品を配布しました。

女性交通指導員の研修会を行いました

女性交通指導員の研修会が八月九日(火)中央公民館本館でありました。主催は、半田署管内の一市五町で組織される東知多交通安全推進連絡協議会。愛知県交通安全教育チーム「あゆみ」の皆さんを講師として招き、一市五町の女性交通指導員が交通安全指導などについて研修を受けました。

交通指導員は「悲しい交通事故が起きないように、今回の研修で学んだことを生かし、これからの指導をがんばります」と研修後に決意を新たにしました。



□ 問い合わせ先
防災交通課 ☎(48)11111
(内277)

敬老会を開催

□日 時 九月十一日(日)
午後一時半～午後三時

□場 所 勤労福祉センター(エスペランス丸山)

□対象者 七十歳以上の高齢者(昭和十六年十二月三十一日以前に生まれた方)

□内 容 式典後は、和太鼓サークル「歩童」と阿久比中学校吹奏楽部の皆さんによるアトラクションを開催します。

※ 敬老会当日は会場周辺の道路の混雑が予想されますので、交通事故に気を付けてお越しください。

□問い合わせ先 保険課介護保険係
☎(48)1111(内228・290)

全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間を実施

虐待など高齢者・障害者の人権にかかわる悩み事、心配事など相談に電話で応じます。

相談内容の秘密は堅く守られますので、一人で悩まず、気軽に相談してください。

□日 時
九月五日(月)～十一日(日)
〈平日〉午前八時半～午後七時
〈土曜・日曜日〉午前十時～午後五時

□相談担当者 人権擁護委員

□相談専用電話 ☎0570(003)110
□問い合わせ先 名古屋法務局人権擁護部 ☎052(952)8111(内1470)

就職者父母懇談会を開催

障害のある方で就職している方、家族を対象とした懇談会「きんろうかんしや父母の会」を開催します。

□日 時 九月十七日(土) 午前十時～午後三時

□場 所 半田市福祉文化会館(雁宿ホール) 第三会議室(半田市雁宿町1-22-1)

□参加費 無料

□問い合わせ先 知多地域障がい者就業・生活支援センター「ワーク」
☎0562(34)6669

FAX 0562(34)6618
電子メール work@aiken.jp

甲種防火管理講習会(再講習)を開催

三百人以上収容することができる特定用途防火対象物の防火管理者は、資格取得後五年以内ごとに再講習を受講しなければならないとされています。

□講習日時 十月十九日(水) 午後一時半～午後四時

□場 所 知多中部広域事務組合消防本部(半田消防署二階講堂)

□定 員 五十人(先着順)

冷蔵倉庫の固定資産評価基準見直しについて ～冷蔵倉庫用家屋を所有されている方へ～

◎基準の見直しについて

平成24年度から「冷蔵倉庫(保管温度が10度以下に保たれる倉庫)用家屋」の固定資産評価基準が改められます。

これまで、非木造の「冷蔵倉庫」については「一般倉庫」と同じ基準により取り扱われてきましたが、平成24年度の固定資産税課税分より非木造の「冷蔵倉庫用家屋」について、家屋の評価額が早く減少する計算方法が適用されることになりました。

※ ただし、冷蔵倉庫用家屋と認定された場合でも、平成24年度の経年減点補正率が既に最終減価率(固定資産評価基準では2割)に到達しているものは、評価額の変更はありません。

◎対象となる倉庫

- 次の要件すべてに該当する冷蔵倉庫が対象になります。
- ・非木造の倉庫(鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、軽量鉄骨造)であること。
- ・倉庫内を10度以下に保つことができるもの。
- ・建物の面積の50パーセント以上が冷蔵倉庫用であること。
- ・倉庫そのものに冷蔵機能を備えているもの。

※ 一般用の倉庫内にプレハブ方式の冷蔵庫、業務用冷蔵庫などを設置しているものは、対象となりません。

◎お願い

該当する家屋を所有していると思われる方は、役場税務課固定資産税係まで連絡ください。現況調査を行います。調査時には、冷蔵能力が分かる書類、図面などをご用意ください。

□連絡・問い合わせ先 税務課固定資産税係 ☎(48)1111(内218)

□申込期間 九月十二日(月)～十六日(金) 午前九時～午後五時
□受講料 千四百円
□申込方法 所定の申込書に記入のうえ、写真一枚(縦三センチメートル×横二・三センチメートル)、受講料、甲種防火管理講習(新規)修了証の写しを添えて消防本部予防課へ申し込みください。(郵送不可)
□問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部予防課
☎(21)1491
HP <http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>

お知らせ

四人制ビーチボール
バレー教室を開催

- 対象 一般
- 定員 三十人
- 日時・場所

日にち	時間	場所
10月6日(木)	午後7時30分～ 午後9時30分	東部小学校体育館
10月13日(木)	午後7時30分～ 午後9時30分	草木小学校体育館
10月20日(木)	午後7時30分～ 午後9時30分	南部小学校体育館
10月27日(木)	午後7時30分～ 午後9時30分	英比小学校体育館
11月3日(木・祝)	午後7時30分～ 午後9時30分	ふれあいの森体育室

全5回

受講料 千円(アクティブあぐい
会員は無料)

内容 技術とルールを習得し、
ビーチボールバレーの楽しさを体
験します。

講師 アクティブあぐい指導員

申込期限 九月二十六日(月)

申し込み・問い合わせ先

社会教育課体育係 ☎(48)11

11(内262:280)

アクティブあぐい ☎090(6

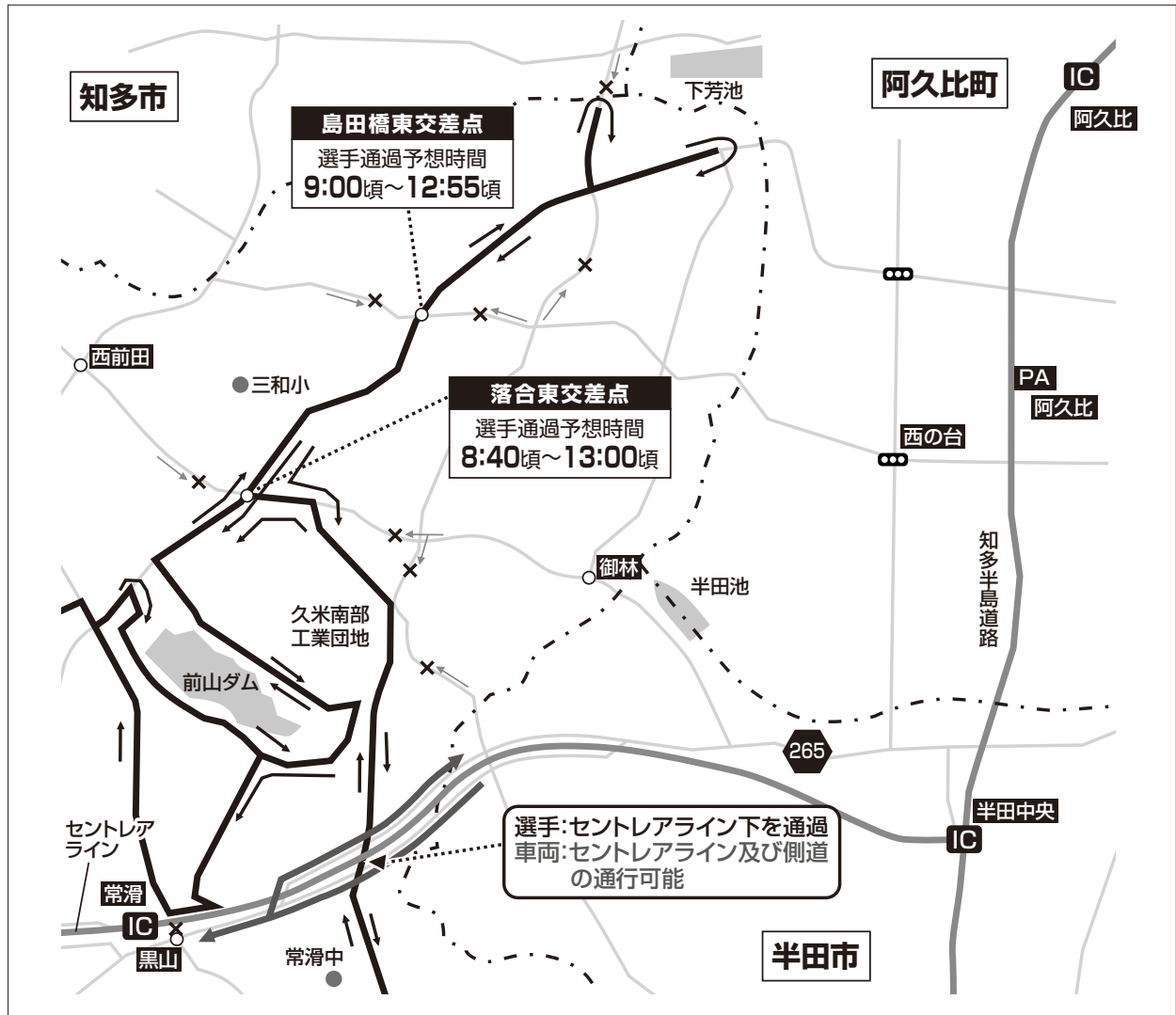
617)9101

アイアンマン70.3セントレア常滑ジャパン開催に伴う交通規制 9月18日(日) 午前7時～午後2時30分

トライアスロン大会「アイアンマン70.3セントレア常滑ジャパン」が9月18日(日)、常滑市内で開催されます。当日は、コース周辺で大規模な交通規制が行われます。詳細については、常滑市ホームページ(<http://www.city.tokoname.aichi.jp/>)で確認してください。

問い合わせ先 大会実行委員会事務局 ☎0570(010)703

→ X 行き止まりとなる所



自衛官採用(進学・就職)説明会を開催

平成二十三年度秋の採用(進学・就職)説明会を行います。

□日時

九月三日(土) 午前十時～正午
 九月五日(月)、六日(火)、十六日(金) 午後六時～午後七時半
 九月十七日(土) 午後二時～午後四時

9月定例議会を開催

平成23年阿久比町議会第3回定例会を次のとおり開催します。

□日時 9月8日(木) 午前10時から
 □問い合わせ先 議会事務局
 ☎(48)1111(内241)

□場所 自衛隊愛知地方協力本部
 半田地域事務所(半田市南末広町6-2 半田ビル二階)
 □採用(進学・就職)種目など

採用種目	進学・就職後の概要	受験資格
防衛医科大学校学生	自衛隊の幹部医師を目指します。	高校卒業(見込み含む) 21歳未満
防衛大学校学生	自衛隊を動かす幹部を目指します。	
航空学生	航空機パイロットを目指します。	高校卒業(見込み含む) 24歳未満
看護学生	看護師を目指します。	
一般曹候補生	チームリーダーを目指します。	18歳以上 27歳未満
自衛官候補生	第一線での活躍を目指します。	
高等工科学校生徒	将来のチームリーダーを目指します。	中学校卒業(見込み含む) 17歳未満

※受験資格の年齢は、平成24年4月1日現在のものになります。

0004
 □問い合わせ先 自衛隊愛知地方協力本部半田地域事務所 ☎(21)

環境衛生週間に関するポスターを展示

九月二十四日「清掃の日」から十月一日「浄化槽の日」までの「環境衛生週間」の一環として、東部知多衛生組合管内(大府市、豊明市、東浦町、阿久比町)の小学四年生から寄せられたポスター(優秀作品)を展示します。

□展示場所 東部知多温水プール二階ロビー(大府市大東町2-96)
 □展示期間 九月十七日(土)～十月十六日(日)
 □問い合わせ先 東部知多クリーンセンター ☎0562(46)8855

阿久比町短歌の会

朝もやか夜の名残りが薄ら闇 ひとり無言で階段登る
 のがれんと思ふ思いの重なるの重き扉が心ふさぎぬ 岡本 育与
 かすかなる風を残して吾が傍をスイと燕が飛んでゆきたり 勝 暁子
 幼子がでんでん虫よとはしやく声こぬか雨降る梅雨空の中 奥田 貞子
 電線に楽譜の如く並びたるつばめの親子が初夏を奏でり 山本ささ子
 朝毎に吾を待ちいし老うさぎ姿なきケージに吾が胸うつろ 山口 昇
 大村寿美子

魂魄に光ありせばかくならむ闇に流るる夏虫の群れ 三留 享
 はかなげな優しき光はなちつつ螢は恋の相手さがせり 渡辺百合子
 夏バテに良いかと思ひニンニクを食べてもやはり歳には勝てぬ 山崎 淳子
 裏切りと信頼心は紙一重女の園はいつも戦い 木村 久世
 夏至の過ぎ日の入り徐徐に早まればはやも田圃に秋菝飛ぶ 竹内 清己
 明け方の雨に輝くアジサイに蝶の止まりて憩いおるらし 桃井 昌子

今月の納税など

国民健康保険税	2期分
介護保険料	2期分
後期高齢者医療保険料	3期分
公共下水道事業受益者負担金	2期分

納期限は9月30日(金)です。

阿久比町次世代育成支援行動計画の進展状況を公表します

安心して子どもを生み、子育てしやすい環境をつくるために、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が成立し、社会が一丸となって、次世代の育成を支援していく施策を進めています。

町でも、平成17年3月に「阿久比町次世代育成支援行動計画」を策定し、一人でも多くの方が子育てに伴う喜びが実感できるよう支援するための取り組みを行っています。

◆基本理念

阿久比町に住むすべての子どもが次代の担い手として、心身ともに健康で安心と自信を持って暮らし、子どもらが輝きながら生きる力を育むとともに、全ての家庭が安心して子どもを育てることができるような環境づくりを目指します。

子どもが健康で輝きながら育つまち 阿久比

◆施策の基本的な方向性

- ・ 地域における子育ての支援
- ・ 母性ならびに乳幼児等の健康の確保および増進
- ・ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
- ・ 子育てを支援する生活環境の整備
- ・ 職業生活と家庭生活との両立の推進等
- ・ 子ども等の安全確保
- ・ 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進

◆計画の期間

- ・ 平成17年度から平成21年度までの5年間を前期計画とし、平成22年度から平成26年度までを後期計画とします。後期計画については、前期計画の中間評価などを踏まえ平成21年度中に策定しました。

◆主な施策の目標値と進展状況

町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp/ka/jisedaikeikakuh22.html> をご覧ください。

□問い合わせ先 住民福祉課 ☎(48)1111(内301)



阿久比町民憲章

- わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
- ◎ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
 - ◎歴史と伝統を守り、教養を高めます。
 - ◎スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
 - ◎オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
 - ◎ボランティア活動に、すすんで参加します。



人口と世帯



世帯数	9,170 (+20)	7月中の異動	
人口	26,278人(+47)	出生	25 転入 93
男	12,986人(+19)	死亡	9 転出 62
女	13,292人(+28)		
()は前月との増減数		平成23年8月1日現在	



■発行/阿久比町(〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50 ☎0569-48-1111) 編集/総務部企画財政課

■阿久比町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp/>
資源を大切に!この用紙は再生紙を使用しています。

広報あぐいを声の広報ボランティア「あいうえお」がCD録音しています。ぜひご利用ください。

■問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター ☎(48)1111